

インド モンスーン被災者 ダリット・先住民族イルラー支援 緊急カンパにご協力ください！

インドのNGO農村教育開発協会（SRED）代表であり、反差別国際運動（IMADR）の理事であるブルナド・ファティマ・ナティサンさんから、日本の仲間の皆さんに、モンスーン被害にあいながら、政府の救援網から抜け落ちているダリットと先住民族イルラーの人びとへ支援要請が届きました。IMADRはこれに応じて緊急カンパをよびかけます。



ファティマさんからの支援要請の手紙

2015-11-25

こんにちは！

この手紙は、モンスーンによる集中豪雨で家が崩壊し、食料・水・住処を必要としているダリットとイルラー（先住民族）への支援をお願いさせていただいたためものです（写真右・ファティマさんは足を悪くして座っています）。

11月中旬に発生したモンスーンは、タミル・ナドゥ州（インド南東部）に深刻な被害をもたらしました。数日にわたる降水は、州内の集落をすべて雨で流してしまいました。大規模な浸水で、家の壁は崩壊し、湖の堤防は破られ、川にかかる橋も崩壊してしま



っています。電車やバスも止まっている状態で、アラコナムにある政府系病院もひどく洪水被害を受けています。被災者を対象として救助キャンプが設立され、人びとは学校や公共施設のホールに滞在し、政府が一時的に食料を提供していますが、差別されているダリットとイルラーには政府の救援が届きません。

私たちは3地区（ベロール・ティルヴァッルール・カーンチープラム）350の集落で活動していますが、どこも深刻な食糧・水・衣類不足に苦しんでいます。

私たちは一週間前から、米や生活必需品、マット、毛布、ミルクパウダー、ティーパウダー、砂糖、防水シート、サニタリー用ナプキン、そして炊き出しなどをおこなっており、これまでに、ベロール地区とティルヴァッルール地区の36集落615世帯に救援活動を提供してきました。

今週中にも他の 50 の集落に救助活動を広げる必要があります。被災者たちが必要とする復興費に対して私たちが提供できるものは限られていますが、私たちは 1000 人を対象として炊き出しの提供も行っています。



生活救援、屋根付きスチールハウス建設のために財政支援を

私たちは、被災したダリットとイルラーのコミュニティを支援するために、物資・財政支援を通じた一致団結を仲間たちに呼びかけています。

最も急を要する支援物は、米・衣類・マット・毛布・防水シート・調理済みの食料・パン・ビスケット・衣料品・ノート・通学用かばん、住まいに必要な用品・砂糖・ティーパウダー・ミルクパウダー・サニタリー用ナプキン、またはこれらの品物入手するための財政支援です。

そして私たちは、ラマプラム集落で家が崩壊してしまったイルラーの 32 世帯を対象として、これから耐久性のあるエコアーチ状の屋根付きスチールハウスを 32 棟建設しようと計画しています。このようなスチールハウスは、どんな災害に対しても 10 年は耐えられると言われていています。一棟にかかる費用が 63,000 ルピー（約 12 万 6 千円）なので、2,016,000 ルピー（405 万円余）を準備する必要があります。

どうかこの呼びかけが緊急なものであるとお考え頂き、人びとの生活が日常に戻れるようお助け下さい。

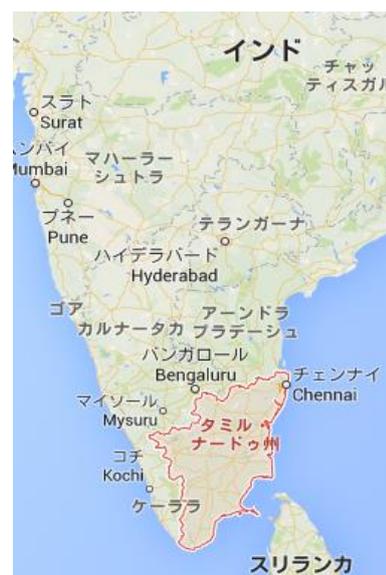
感謝の気持ちを込めて ファティマ

振込先は以下の通りです。1 人でも多くの皆様のご支援をお願いいたします。

1. 郵便振替 口座番号：00910-5-99410
口座名：反差別国際運動日本委員会
※通信欄に「インドモンスーン被災支援金」とご記入ください。

2. 銀行振込 三菱東京 UFJ 銀行 六本木支店
普通口座：0949243
口座名義：反差別国際運動日本委員会
理事長 武者小路公秀（ムシャコウジキンヒデ）
※お手数ですが、お振込後に事務局までお知らせください。

3. クレジットカード
寄付金が 5000 円以上の場合はクレジットカードでの送金もできます。IMADR のホームページ (<http://imadr.net/>) の「寄付をする」からお手続きください。



〈お問い合わせ先〉反差別国際運動 (IMADR) 〒104-0042 東京都中央区入船 1-7-1 松本治一郎記念会館 6 階

Tel : 03-6280-3101 Fax : 03-6280-3102 E-mail : imadr.jc[AT]imadr.org

※メールソフトから送信される場合は[AT]を@に置き換えてください。